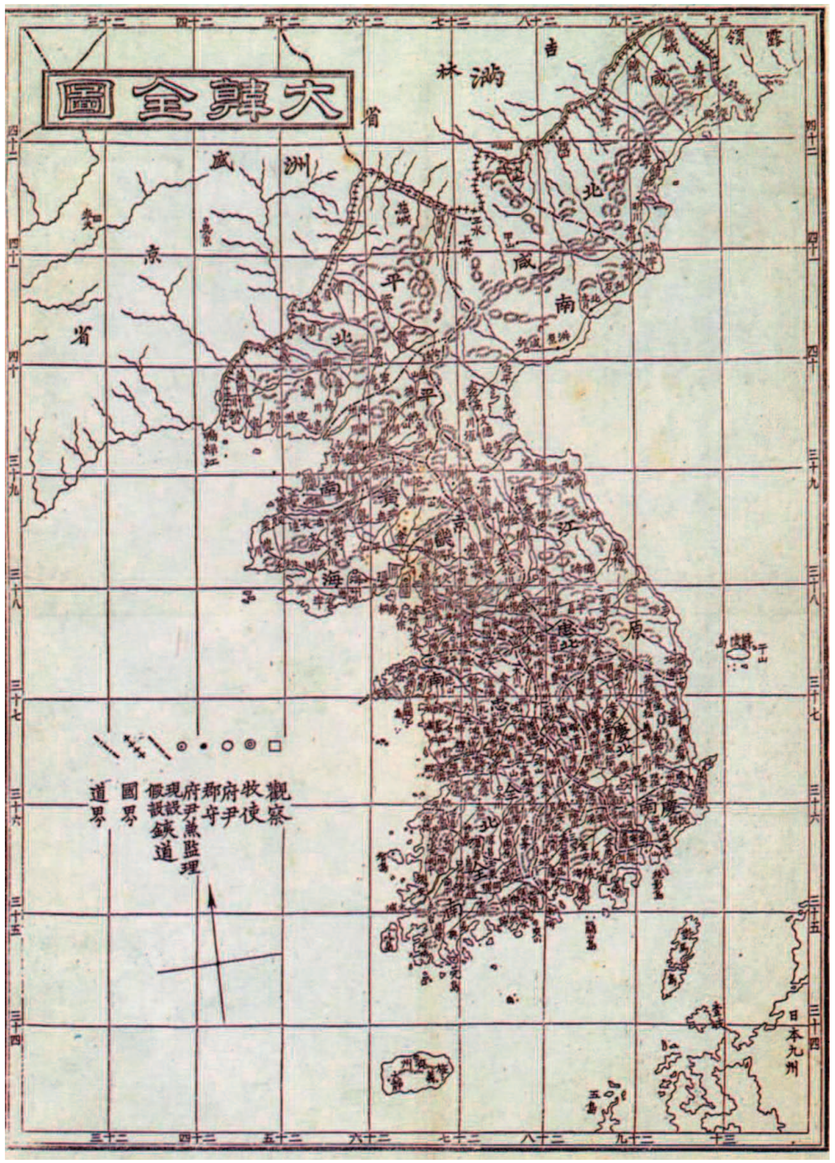
1899年　大韓帝国　地理教科書『大韓地誌』

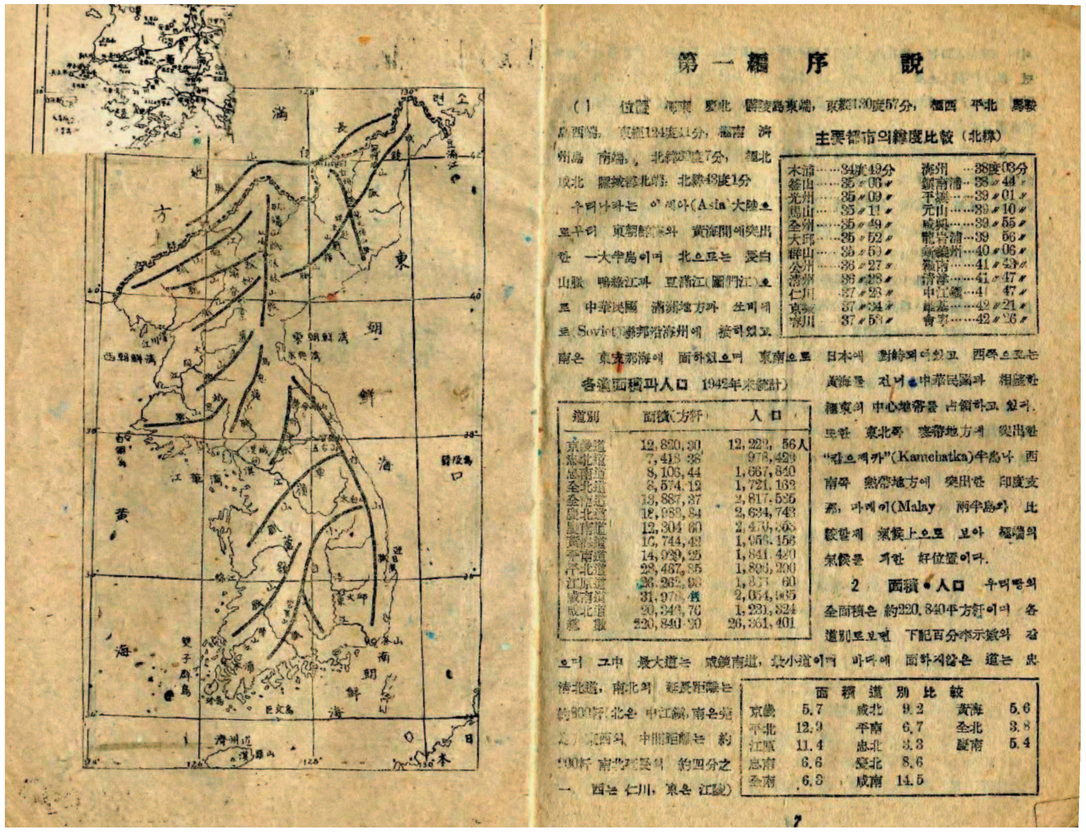


大韓地誌
第一篇　總論
玄采　譯輯
第一課　位置　幅員　海岸
我大韓國位置ヒ亞細亞洲東部에在ㅎ니支那의東北部로부터日本海와黃海灣海間에突出ㅎ半島國이라北緯三十三度十五分에起ㅎ야四十二度二十五分에至ㅎ고東經百二十四度三十分에起ㅎ야百三十度三十五分에至ㅎ니東은日本海를界ㅎ며西ㄴ黃海에濱ㅎ고南은日本海와黃海에臨ㅎ며東南은一海峽을隔ㅎ야日本對馬島와相對ㅎ고北은支那의吉林盛京兩省과慶을接ㅎ야白頭山과豆滿江으로境을劃ㅎ며東北一隅ㄴ豆滿江을隔ㅎ야露領烏蘇里에接ㅎ고幅員은面積이大約八萬二千方英里으長은北東으로

日韓併合前の大韓帝国地理教科書
『大韓地誌』（1899年）
総論（位置）
・歴史学者玄采が記す。
・序は大韓帝国の学部編輯局（＝文部省に相当）の局長（李圭桓）が記す。
⇒教科書の刊行に大韓帝国が関与。

・大韓帝国の東限を　東経130度35分と記している。
⇒実際の竹島の経度は東経131度52分。
⇒竹島は大韓帝国の領域に入っていない。
・「大韓帝国は日本海と黄海に囲まれる」と記載される。
⇒現在韓国側が主張している「東海」、「西海」は使用されず。

1946年　韓国（米国軍政期）地理教科書『朝鮮地理』


第一編　序說
主要都市의緯度比較（北緯）
各道面積과人口（1942年來統計）
西積道別比較

・戦後初めて刊行された韓国の中学校の地理教科書。
・ソウル近郊の景福中学校教諭など３名の執筆。
・朝鮮全図が収録されているが、東端は鬱陵島まで。
・竹島（韓国名 独島）は名称、位置も記載されず。
・韓国の東端を「極東　慶北鬱陵島東端　東経130度57分」とし、竹島（東経131度52分）を含めていない。
・韓国側の主張。
1945年９月マッカーサーラインによって、日本の漁船区域操業区域が制限され、竹島は日本の範囲外とされた。
1946年１月連合国総司令部の訓令677号で、竹島は暫定的に日本の行政区域から外され韓国領となった、と主張。
⇒しかし、その後の1946年に刊行した韓国の教科書でも、竹島は韓国領とせず。1952年４月サンフランシスコ平和条約で竹島は日本領と決着。

2012.9.1　衆議院議員　新藤義孝作成